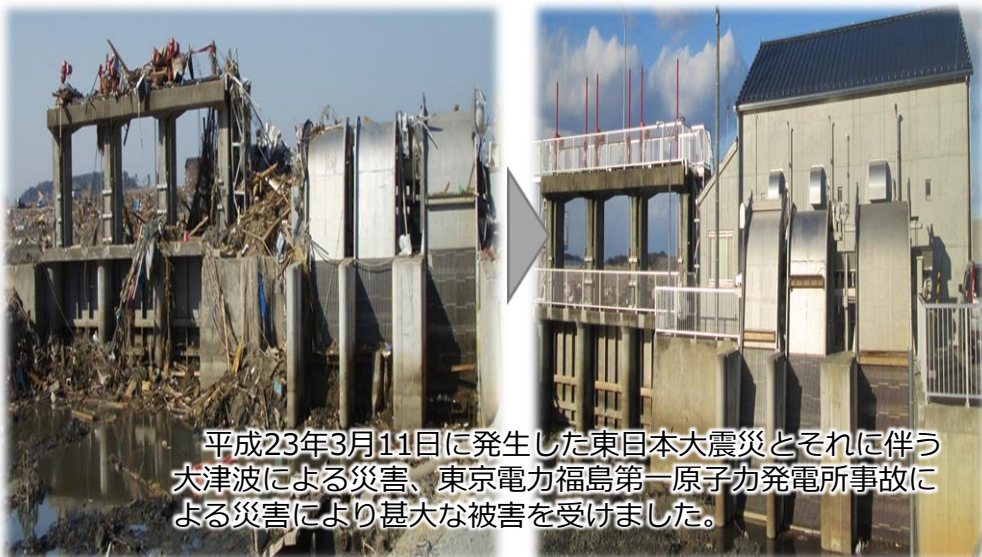


福島県相双地方・農林業の現状と取組

令和5年9月28日
相双農林事務所

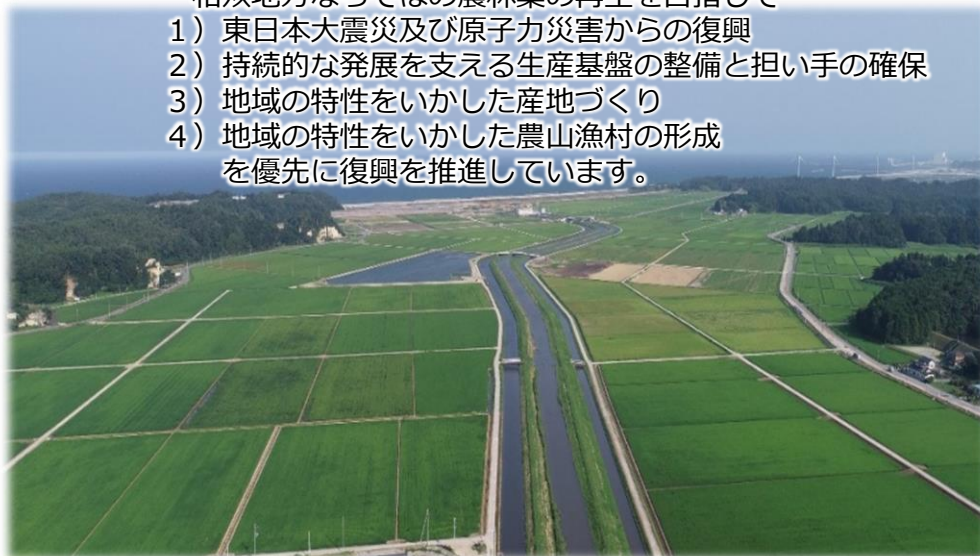


平成23年3月11日に発生した東日本大震災とそれに伴う大津波による災害、東京電力福島第一原子力発電所事故による災害により甚大な被害を受けました。



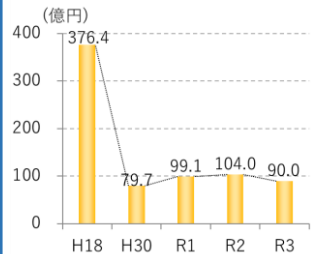
相双地方ならではの農林業の再生を目指して

- 1) 東日本大震災及び原子力災害からの復興
- 2) 持続的な発展を支える生産基盤の整備と担い手の確保
- 3) 地域の特性をいかした産地づくり
- 4) 地域の特性をいかした農山漁村の形成を優先に復興を推進しています。

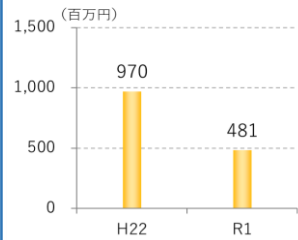


相双地方の農林業の概況

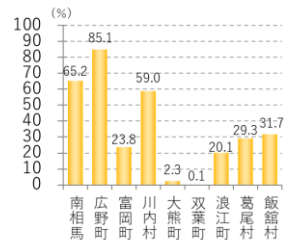
1 農業産出額



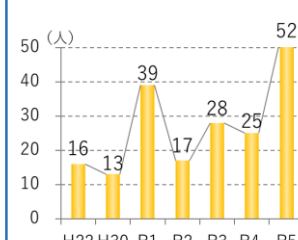
2 林業生産額



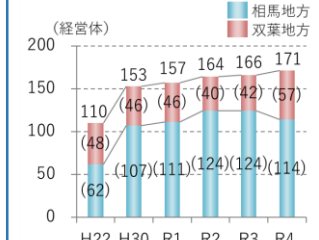
3 営農再開面積率



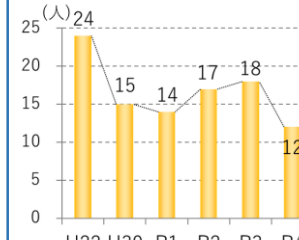
4 新規就農者数



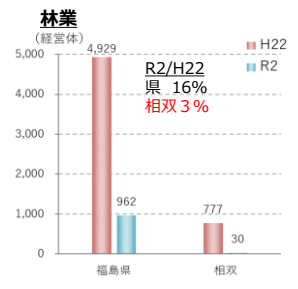
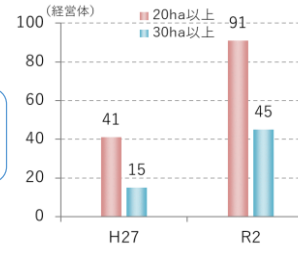
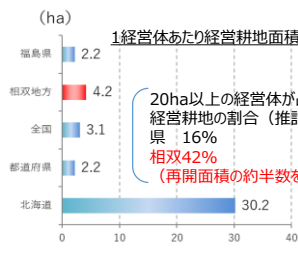
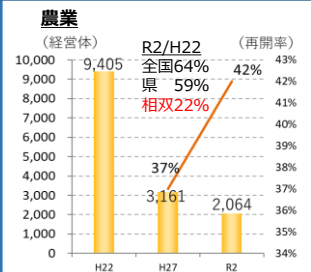
5 農業法人数



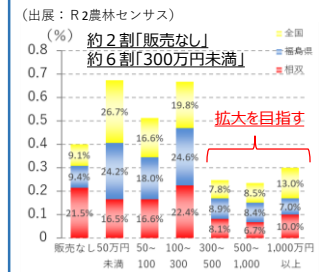
6 新規林業就業者数



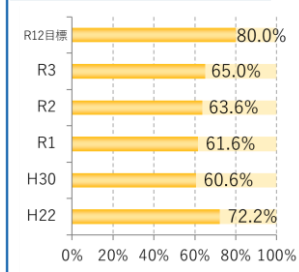
7 相双地方の農林業経営体における規模等



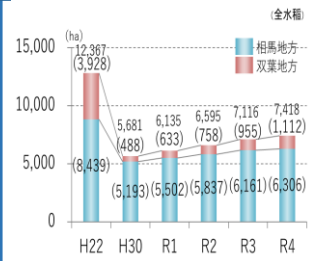
8 農家所得額



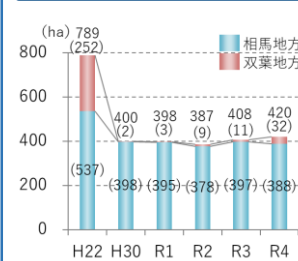
9 ほ場整備率



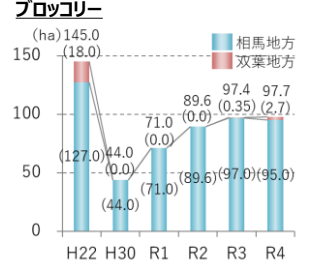
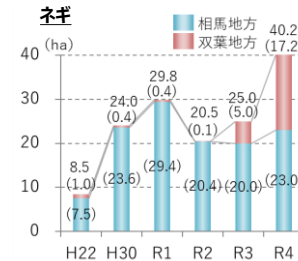
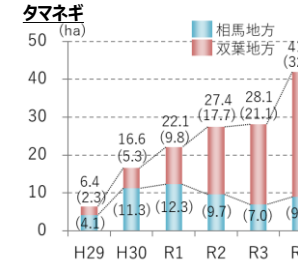
10 水稲作付面積



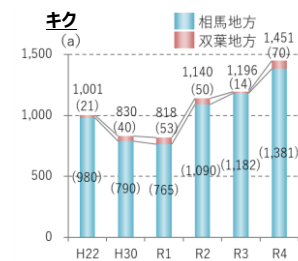
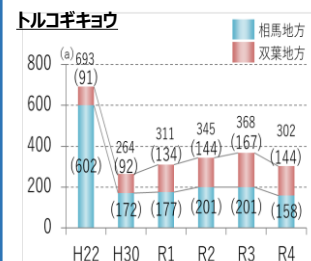
11 大豆作付面積



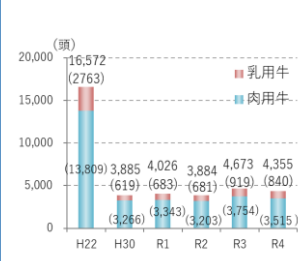
12 主な野菜・果樹の作付面積



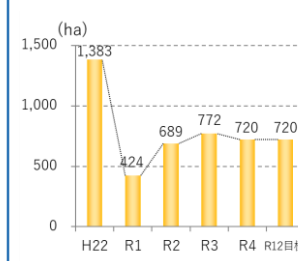
13 花きの作付面積



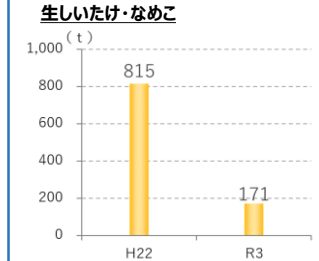
14 畜産 (牛の飼養頭数)



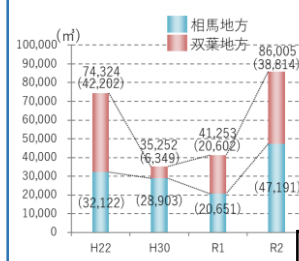
15 森林整備面積



16 主要林産物出荷量



17 木材素材生産量



福島県相双農林事務所 「相双地方ならではの農林水産業の再生を目指して～復興推進～」



農林水産業振興計画の基本目標

「儲かる」「誇れる」共に創るふくしまの農林水産業と農山漁村

農業産出額(県目標)
2,400億円
林業産出額(県目標)
152億円

相双重点活動によるR4年度目標

- ① 営農再開率48%
- ② 新規就農者数35人以上/年
- ③ ほ場整備率68%
- ④ 森林整備面積558ha/年
※④はR3目標

農業産出額(相双)
H22:376億円
R3 : 90 億円
林業生産額(相双)
H22: 9.7 億円
R1 : 4.8 億円

振興方向

I 東日本大震災及び原子力災害からの復興

- ① 避難指示解除や特定復興再生拠点区域等の整備の進捗に応じた農地・農林業施設の復旧
- ② 地域営農再開ビジョンの策定、地域の状況に応じた営農体制の構築、農林業の再開拡大を目指す方の施設整備の支援
- ③ 沿岸部の農地等を守る海岸防災林整備や、きのこ原木林再生に向け調査を踏まえた広葉樹林の更新などによる素材生産の拡大等を支援

IV 地域の特性をいかした農山漁村の形成

- ① 放射性物質対策と一体的に行う森林整備や、素材の生産拡大対策を推進
- ② 農業用ため池等の防災・減災対策や治山施設の整備による国土強靱化
- ③ 農林業・農山漁村の活性化を図るため、関係機関と連携した地域ぐるみによる鳥獣被害対策や、多面的機能支払制度等を活用した集落機能回復を推進
- ④ 食育活動による農山漁村への理解醸成、地域産業6次化の推進による販路の開拓の支援

II 持続的な発展を支える生産基盤の整備と担い手確保

- ① 担い手の営農条件を改善するため、ほ場整備による農地の大区画化及び農業用施設の整備等を推進
- ② 農用地利用改善団体の設立や人・農地プランの策定とその実現に向け、市町村等の取組を支援し、県内外からの多様な担い手の確保・育成と、農地の集積を推進
- ③ 市町村等と連携し、農林業の新規就業者等の定着や経営の体質強化に向けた取組と将来の就業につなげるための体験学習等を推進
- ④ 効率的な森林整備及び素材の生産拡大に必要な林業就業者の確保・育成を図るとともに、高性能林業機械の導入や林道等の路網整備を促進

III 地域の特性をいかした産地づくり

- ① 経営体に応じたスマート農林業や省力化技術の導入、経営規模拡大に対応する生産体系の導入、GAPの認証取得の推進等により収益性の高い農林業の実現
- ② 既存産地の復興と新たな産地形成、さらには、販売先を踏まえ市町村域を超えた広域的な生産・出荷体制の構築など、特色ある産地づくりを推進
- ③ 除染後農地の土づくりを進める中、大規模畜産施設整備に伴い地域資源を活用した耕畜連携を推進
- ④ 集成材等の製品製造拠点整備や木質バイオマス資源を利用する施設整備への支援を通し、地元産はもとより、県産材の利用や木材の需要拡大を推進

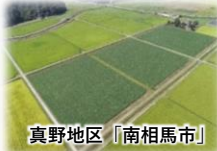
相双地方の農林業の復興

Ⅱ 持続的な発展を支える生産基盤の整備と担い手確保

(1) ほ場整備の推進

復興基盤総合整備事業等により57地区(4,691ha)でほ場整備を推進し、経営体の生産性向上や規模拡大等を支援

着手済	【R4実績】35地区3,203ha	【R5計画】36地区3,278ha
うち完了	5地区 192ha	7地区 664ha
調査計画中	12地区 871ha	12地区 895ha
検討中	10地区 661ha	9地区 518ha
権利者会議	1地区 31.4ha	3地区 481ha



(2) 相双地方・未来へ向けた生産基盤づくりの推進

集落営農の確立やもうかる農業に向け、地域特性を生かした品目・営農形態の導入等の「話し合い」「意向調査」「担い手の明確化」「新技術導入」「農地中間管理事業の活用推進」等による、人・農地プランの策定を推進

(未来へつなぐ生産基盤づくり計画項目)

- ①人づくり(地域計画の策定)
- ②基盤づくり(高い生産性や省力化を実現するほ場整備)
- ③ものづくり(経営体の作付計画、省力化技術の導入)
- ④到達目標(所得額、担い手面積集積率)

- 提案・全体検討会【R4実績】5回 【R5計画】5回
(相馬地方成果例:南相馬市小屋木・畑地化検討開始)
(双葉地方成果例:浪江町11行政区・双葉町下羽鳥検討開始)

- 地域計画策定【R4実績※人・農地プラン】 【R5計画】

相馬地方	新規 6地区/全体87地区	40地区/107地区
双葉地方	新規 1地区/全体14地区	7地区/ 90地区



(3) 新規就農者等の多様な担い手の確保

相双地方新規就農者・企業参入推進検討会議(事業)の推進【R4:新規就農25名】

- HP「相双地域就農支援ポータル」による情報発信、就農フェア出展
【R4実績】3回・12ブース、52組53名相談
【R5計画】3回(東京、新・農業者フェア)
- 研修受入体制整備(1日～2週間)
【R4実績】農業法人等30件・受入4名延べ6回参加
【R5計画】6月～2月(短期1～3日、中期2週間)
- 現地見学バスツアー(農作業体験、農業者との交流等)
【R4実績】相馬コース(6名)双葉コース(8名)
【R5計画】2回(各10名程度)
- 短大学生等向け農業法人等視察相談会
【R4実績】短大1年生45名(R4.9.13・作物、野菜・花き、果樹、畜産コース)
【R5計画】短大1年生、農業高校2年生対象
- 法人向け雇用スキル向上研修(人材定着促進) ●就農相談会
【R4実績】2回(相馬、双葉) 【R4実績】 -
【R5計画】2回、雇用就農を促進・定着のための 【R5計画】法人相談ブース
法人を対象としたアンケート(参考:法人数171件) 就農学生体験談



Ⅲ 地域の特性をいかした産地づくり

(1) 土地利用型作物の作付推進と生産安定対策

水稲直播栽培の推進【H22:167ha → R4:832ha】

- 【R4実績】
- 相馬地方の直播栽培面積は震災前の約5倍の682ha
- 双葉地方では、川内村、檜葉町、浪江町で導入
- 【R5計画】
- 乾田直播栽培検討会の開催
(参考)水稲面積【H22:12,803ha → R4:7,418ha】
相馬は震災前71%の6,306ha、双葉は同28%の1,112ha

大豆栽培の推進【H22:789ha → R4:420ha】

- 相馬地方の大豆栽培面積は、震災前の約70%
- 新品種「里のほほえみ」の作付拡大
(H29:7ha→R4:270ha)

土地利用型園芸作物の推進

- ①タマシ 【H22:-ha → R4:41.9ha、単収1.1t】
- ②ブロッコリー 【H22:145ha → R4:97.7ha、単収0.3t】
- ③柿 【H22:8.5ha → R4:40.2ha、単収1.6t】

- 【R4実績】
- 機械化体系による大規模実証
- 【R5計画】
- 各ほ場の低収要因把握と対策指導
- 作業効率の高いほ場確保の促進と作付推進
- 機械化体系による大規模実証(継続)



(3) 農業等施設等の整備

福島再生加速化交付金等を活用し、農林業施設の整備や農業機械等の導入を支援

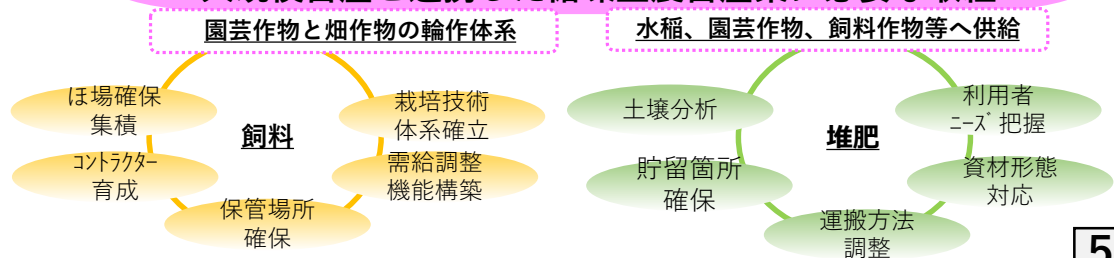
- 【R4主な実績】
- 穀類乾燥調製施設・富岡町(稼働)
- 小高園芸団地施設・南相馬市(一部栽培開始)
- 甘藷育苗施設・檜葉町(竣工・稼働)
- 大規模畜産施設・葛尾村(竣工)
- 稲育苗施設・浪江町、葛尾村(竣工)
- 木材加工流通施設・浪江町(稼働)
- 【R5主な計画】
- 園芸集出荷施設設計・南相馬市
- タマシ 乾燥貯蔵施設整備・富岡町
- 復興牧場整備・浪江町
- 穀類乾燥調製施設整備・相馬市
- 大規模畜産施設整備・葛尾村
- 包装米飯加工工場整備・檜葉町
- 広域流通・加工向け生産体制検討



安定した需要が見込める加工等の生産・販売に向け、実需者とのマッチング支援や生産技術体系確立を推進

- 効率的な作業等を実現する団地形成の提案
- 加工業務向け生産に特化した法人参入支援
- 相双ならではの経営類型(収支)の策定 等

大規模畜産と連携した循環型農畜産業に必要な取組



相双地方の農林業の復興

IV 地域の特性をいかした農山漁村の形成

(1) 森林の再生

ふくしま森林再生事業①事前調査(全体計画、同意取得、年度別計画)
②森林、路網整備③放射性物質拡散防止対策(木柵等)で森林の再生
(市町村に対しては対象森林の選定や森林施業に関する技術的な支援)

【R4実績】580ha

R4まで3,232ha(うち県営355ha)

相馬、南相馬、新地、飯館、
広野、檜葉、富岡、川内、浪江、葛尾

【R5計画】767ha(うち県営41ha)



丸太筋工
(放射性物質拡散防止対策)

森林経営計画の策定支援

【現状】森林経営計画策定7件

【R5計画】森林経営計画策定1件

●森林面積 115,830ha
森林内訳 国有林 55,915ha
民有林 59,915ha
民有林内訳 天然林 29,359ha
人工林 29,124ha
森林経営策定面積 1,180ha
(民有林-人工林面積対比4%)

里山再生事業の取組支援

(里山再生モデル事業(H29~R1)の後継事業)

●関係省庁連携の下、日常的に人が立ち入る里山の再生に向けた取組として、除染、森林整備線量測定を実施
(檜葉町、富岡町、浪江町、飯館村が選定)

木材加工流通施設の整備と木材供給への支援



福島高度集材製造センター
(略称:FLAM エフラム)

●事業主体:浪江町
●管理運営:株式会社ワッドコアを代表幹事法人とするコンソーシアム(朝田木材産業㈱ 藤寿産業㈱等)

(2) 治山対策

治山施設整備による国土強靱化

【R4実績】5地区(うち繰越1地区)

【R5計画】8地区(うち繰越3地区)



南川原地区(南相馬市)

(3) 森林環境基金による適正管理や環境学習支援

森林適正管理8市町村、森林環境学習12市町村

【R4実績】

森林適正管理:

森林情報を集積し、リアルタイムで情報の共有・活用を行う森林クラウドシステムの利用

森林環境学習:

小中学校26校、幼稚園1園で木工作や自然観察会を実施

森林クラウドシステム



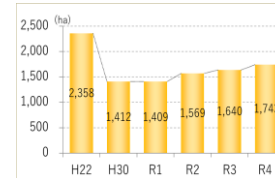
木工教室(南相馬市)

(4) 農業・農村環境の維持

中山間地域等直接支払交付金

【R4実績】1,743ha・7市町村

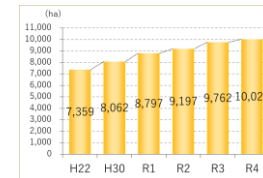
(前年より103ha増)



多面的機能支払交付金

【R4実績】10,021ha・10市町村

(前年より259ha増)



(5) 防災重点農業用ため池防災工事等の取組

農業用ため池の防災・減災対策の推進

(指定ため池:361箇所)

●ハザードマップ作成(対象:352箇所)

【R4実績】着手済346箇所(進捗98%)

●劣化状況調査・豪雨耐性評価(対象:340箇所)

【R4実績】着手済288箇所(進捗85%)

●地震耐性評価(対象:352箇所)

【R4実績】着手済218箇所(進捗62%)

●防災工事(対象:18箇所)

【R4実績】0箇所 【R5計画】1箇所



ため池廃止工事



劣化状況調査

(6) 安全・安心の取組

県産農林産物の安全・安心に対する信頼回復に向けた取組



安全な農林水産物を消費者へ

米の全量全袋検査
【R4実績】74,756点
野菜等のモニタリング検査
【R4実績】854点
県産材(製品材)の表面放射線量測定【R4実績】52検体

(8) 地産地消の推進

相双地方産農林水産物の魅力をPR

●農産物収穫体験等を行うバスツアーを実施

【R4実績】2回(相馬市・新地町、檜葉町)

【R5計画】2回(相馬地方・双葉地方)

地域の食文化理解等を図る食育の推進

●小学生等を対象とした調理実習等の食育活動を支援

【R4実績】13団体(23回)【R5計画】15団体(20回程度)



サツマイモ掘り体験

(7) 風評の払拭

県産農林水産物の消費拡大の推進

●「おいしいふくしまいただきます! キャンペーン」開催

【R4実績】4回【R5計画】4回

●生産団体等が実施するPR活動を支援

【R4実績】7団体【R5計画】7団体

農家民宿における
キャンペーンにおいて
南相馬市産米
プレゼント



(9) 地域産業6次化の推進

6次化商品の販売機会の創出

●南相馬合庁職員等を対象に6次化商品注文販売会を開催

【R4実績】2回【R5計画】2回

地域の6次化を担う人材の育成

●6次化に関する知識及び技術の習得や6次化に取り組む事業者間の交流を目的に「そうそう・6次化ラボ」事業を実施

【R4実績】3事業者【R5計画】3事業者程度



6次化ラボ



6次化商品
注文販売会